

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月10日

計画の名称	八幡浜中心地区まちづくり計画												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	八幡浜市												
計画の目標	<p>「八幡浜中心地区まちづくり計画」では、八幡浜市の3つ交通拠点（JR八幡浜駅・八幡浜IC・八幡浜港）に囲まれ、既存の商業・業務機能が集積している中心市街地の都市中心と、行政・文化・観光拠点が集約され、都市中心を補完する副中心を併せた区域を「中心拠点区域」に位置付け、各拠点間の連携・ネットワークの強化を図り、都市機能を集約化することで、『交流拠点を有機的に結び、魅力ある「みなとまち八幡浜」の再生』を目指している。</p> <p>中心拠点区域の八幡浜中心地区内においては、民間活力を利用した商業施設や既存商業地区内のPREを活用した新たな交流拠点を誘導施設として整備する。これにより各拠点間の回遊性の向上を図り、地域の賑わい形成を再構築する。</p> <p>一方、八幡浜市健康づくり計画の方針である、健康づくり支援のための環境づくりとして、中心拠点区域内にウォーキングコースを整備する。これにあわせ、コースマップ作成、講演会開催など、市民の健康増進を目的とした健康都市関連事業を展開することで、健康都市としての魅力の向上を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,697	A	1,489	B	0	C	208	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	12.25	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	中心市街地（商店街）の歩行者数を、449人/日から500人/日へ増加。 都市機能強化を図った各拠点間の連携、中心市街地活性化の度合いを「商店街の歩行者数」で評価する。	449人/日	人/日	500人/日
2	市民スポ - ツセンターの利用者数を、12,081人/月から13,700人/月へ増加。 温浴施設整備により発生した影響度の度合いを隣接施設である「市民スポ - ツセンターの利用者数」で評価する。	12081人/月	人/月	13700人/月
3	生活習慣を改善する意欲がある人の割合を、67.6%から76.0%へ増加。 健康都市としての魅力向上の効果の度合いを「生活習慣を改善する意欲がある人の割合」で評価する。	67%	%	76%
4	避難生活のために必要な市の備蓄量（食糧）を、840人分/3日間から1,100人分/3日間へ増加。 都市における防災力向上において、避難者や帰宅困難者への支援として、被災時に必要な食糧の準備度合で評価する。	840人分/3日間	人分/3日間	1100人分/3日間
5	まちなみガイド（ボランティア）の利用者数を、620人/年から983人/年へ増加。 文化交流拠点の一体的な整備による、まちの賑わいの度合いを「まちなみガイド利用者数」で評価する。	620人/年	人/年	983人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	八幡浜中心地区都市再生 整備計画事業	A = 1 0 5 ha	八幡浜市						1,489		-	
												小計						1,489		
												合計						1,489		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	市民スポーツセンター機能向上事業	市民スポーツセンター改修の実施	八幡浜市						140	-	
		市民スポーツセンターの機能向上整備と北浜温浴施設整備（誘導施設）を一体的に実施することで、両施設の集客力の増加による経済効果、市民の健康増進も期待される。																	
都市再生整備計画事業	C10-002	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	市民スポーツセンター機能向上事業 その2	市民スポーツセンター改修の実施	八幡浜市						39	-	
		市民スポーツセンターの機能向上整備と北浜温浴施設整備（誘導施設）を一体的に実施することで、両施設の集客力の増加による経済効果、市民の健康増進も期待される。																	
都市再生整備計画事業	C10-003	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	教育文化施設（旧図書館）現況調査	郷土資料館への活用可能性調査	八幡浜市						2	-	
		旧図書館の現況を調査して、基幹事業である教育文化施設と一体的に整備することで、教育文化施設の機能向上が図れ、交流人口の増加につながる。																	
都市再生整備計画事業	C10-004	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	中心市街地活性化事業（展覧会開催）	展覧会の開催	八幡浜市						14	-	
		展覧会開催等の各種事業を効果的に実施することで、交流人口が増加し、中心市街地の活性化が期待できる。																	
都市再生整備計画事業	C10-005	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	健康都市関連事業（マップ作成・講演会開催）	マップの作成及び講演会の開催	八幡浜市						4	-	
		健康都市の環境づくりとして、ウォーキングコースマップの作成や専門家派遣による講演会を開催することで、市民の健康増進が期待でき、健康都市としての魅力向上につながる。																	
都市再生整備計画事業	C10-006	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	事業効果分析調査	基幹事業の効果分析調査	八幡浜市						2	-	
		今後のまちづくりを検討するための効果分析調査を行う。																	
都市再生整備計画事業	C10-007	都市再生	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	-	-	都市構造に関する基礎調査	都市構造の分析調査	八幡浜市						7	-	
		都市構造に関する基礎調査を実施することで、集約都市形成の推進が期待できる。																	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 事後評価庁内検討会議の開催 評価委員会の審議 事後評価のフォローアップ 	令和元年度に実施（令和2年度にフォローアップを実施）
	公表の方法
	市HPにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>指標1：事後評価の時点で数値目標に至っておらず、平成23年度から歩行者数が年々減少しているため、1年以内の数値目標の達成は困難であると判断した。</p> <p>指標2：事後評価の時点では数値目標に至っていないが、平成28年度以降は徐々に利用者数が増加しており、事業の効果が発現している。今後、数値目標を達成する可能性はあるが、1年以内の数値目標の達成は困難であると判断した。</p> <p>指標3：事後評価の時点では数値目標に至っておらず、平成29年度以降、生活習慣を改善する意欲がある人の割合は横ばいで推移している。今後、数値目標を達成する可能性はあるが、1年以内の数値目標の達成は困難であると判断した。</p> <p>指標4：防災倉庫の整備により、避難時の備蓄量（食料）が確保されたため、目標達成とした。</p> <p>指標5：事後評価の時点で数値目標に至っておらず、平成27年度をピークに歩行者数が減少しているため、1年以内の数値目標の達成は困難であると判断した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>数値指標1：駐車場の利用台数（台/月） 従前値(H27) 4,744 実績値 6,651 設定理由 - 既存商業地区への交流人口の増加を評価するため、定量的指標以外の数値指標を設定 発現状況 - ちゃんぼん駐車場の整備により、既存商業地区の駐車台数が増加し、交流人口の維持に貢献していると考えられる。</p> <p>数値指標2：温浴施設の利用者数（人/月） 従前値(H29) 11,228 実績値 11,766 設定理由 - 北浜エリアへの交流人口の増加を評価するため、定量的指標以外の数値指標を設定 発現状況 - 北浜公園・市民スポーツセンターと隣接する温浴施設の整備により、北浜エリアへの交流人口の増加に繋がっていると考えられる。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後のまちづくりの方策</p> <p>効果を持続させるために行う方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤となる拠点整備（地域交流センター、文化交流センター、駐車場）は達成されたため、各施設及び住民参加の充実を図る。 ・防災倉庫が整備されたため、施設の維持とともに、防災機能の周知及び防災啓発活動による安全・安心のまちづくりの実現を図る。 <p>未達成の目標を達成するための改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤となる拠点整備は達成されたため、各施設・住民参加を維持するとともに、交通拠点・都市拠点・交流拠点の有機的な連携の強化による回遊性の向上、中心市街地へ来訪者を呼び込む施策を検討し、交流人口の増加を図る。 ・自転車道整備等により、市内回遊環境の強化を図る。 ・北浜地区において隣接する市民スポーツセンター・温浴施設・北浜公園が一体となって、交流人口の増加を図る。 ・健康づくりの拠点整備などのハード施策、「八幡浜市健康づくり推進協議会」との連携によるマップ作成や講演会活動などのソフト施策を展開し、市民の健康づくりを支援する健康づくりを推進する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	商店街の歩行者数	
	最終目標値	500人/日
最終実績値	283人/日	
2	市民スポーツセンターの利用者数	
	最終目標値	13700人/月
最終実績値	12667人/月	
3	生活習慣を改善する意欲がある人の割合	
	最終目標値	76%
最終実績値	67%	
4	避難生活のために必要な市の備蓄量（食料）	
	最終目標値	1100人分/3日間
最終実績値	1432人分/3日間	
5	まちなみガイド利用者数	
	最終目標値	983人/年
最終実績値	317人/年	